

施設名	かいじょうほあんたいがっこう いかりはちゅうりょくじっけんしつ 海上保安大学校 錨把駐力実験室								
所在地	広島県 呉市								
管理官署	海上保安大学校								
施設種類	建築								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>錨把駐力実験室は呉港の西側、海上保安大学校内に位置する。現在の海上保安大学校の敷地は、かつては旧海軍施設であった。終戦前後には、敷地内に数多くの工場・倉庫群や事務所施設等が建ち並んでいたが、学校施設への建替えが進み、現在は4棟の煉瓦造建物が残るのみとなっている。その内の1棟である錨把駐力実験室(旧砲煩部第三試験用火薬庫)は、呉鎮守府とその造船部の開庁にともない明治24年(1891)に作られた呉市の煉瓦造建物の初期の施設で、呉市内に残る煉瓦造建築として貴重である。</p>								
建築時期	明治中期	時期詳細		明治24年					
関連人物	-								
関連企業	旧海軍								
トピックス (特徴的エピソード)	現在海上保安大学校の敷地内に残された4棟の煉瓦造建物は、旧海軍施設として建設された数多くの施設のごく一部に過ぎない。しかし、それぞれ建築年代も建設当初の用途も違い、時代ごとの特徴をそれぞれが伝えており、それらが一体となって歴史的価値を有している。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○			文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
		その他の指定・認定		4棟の内その他1棟である煉瓦ホール(大正3年)は、呉市有形文化財及び日本遺産の構成文化財となっている。					
その他 (関連資料、文献)	文献1:海保大端艇庫の保存改修に関する調査検討業務報告書(財団法人建築保全センター、H16.3)								
管理者等のHP (URL等)	海上保安大学校 https://www.jcga.ac.jp/								



出典:中国地整 撮影